



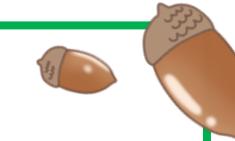
介護保険だけでは高齢社会はのりきれない



介護保険法は2000年4月に施行され、来る超高齢社会に対応する施策と、介護の社会化をうたいスタートしました。

3年毎に見直しがされています。40歳になると誰でも介護保険料の納付が始まり、当然、介護が必要な場合は介護保険が利用できるものと考えます。しかし、やってきたのは人手不足と自己負担増です。

改定が進む介護保険法



介護の社会化はどこへ？

高齢化の進行と労働人口の減少、慢性的な介護人材不足、85歳以上人口の増加に伴う介護給付費の急増という社会背景のもと、2040年には現在の2倍の介護給付費が必要なため、介護保険は、2027年改正に向けて抜本的な見直しの論議が始まっています。

改正内容、介護保険料は大企業に流れる？…

1割から2割負担へ・ケアプランの有料化、
要介護1.2総合事業へ
設備が整った大企業が実施する事業に期待…

改正の内容は、利用の抑制と利用料金の値上げ・大規模事業者への期待を表す内容となっています。
年金受給者の受取額が平均14万円強の中で様々なものが値上がり、その上介護保険の負担増を公平性を理由に利用者に押し付けることは国の政策として問題です。
また、要介護1.2総合事業に移行されると訪問介護、通所介護(デイサービス)は経営が成り立たなくなることが予測できます。

深刻な介護員不足

全国にヘルパーは212.6万人と言われています。
人手不足から介護現場の負担は増大しています。決して魅力のない仕事ではないけれど介護離ればは進む一方で、撤退するデイサービスも増えているようです。
「保険料は納付しても介護サービスは受けられない…」なんてことが現実化しています。

非営利市民事業のはたす役割

総合事業は、介護保険が国から地区町村へ移行される部分です。国が対応することで始められた介護保険制度ですが、今回の改正を見ると再び家族介護に戻る方向に舵が切られているように見えます。

各市町村の動向を注視し、非営利の市民事業、ワーカーズ・コレクティブ等が総合事業を担うことで少しでも良い方向に向うのではなうでしょう？

コミュニティクラブ埼玉 岡田伸幸

いつでも・だれでも
ごはんもある
こうさてん

いつも来ても良い。誰でも歓迎。温かいご飯やお茶を囲んで自然に会話が生まれ、気づけば支え合える関係が育っていく——そんな場を思い描き「コミュニティカフェ幸茶店」を運営しています。

ひとり暮らしの高齢者が「家庭の味だ」とご飯を食べに来る。障害のある方がイベントを心待ちに通ってくれる。小中学生が宿題を広げ、会社員が仕事の合間に一息つく。長期休みには放課後等デイサービスの開始時刻を待つ子どもたちも、笑い声を響かせています。

二軒隣に『コミュニティショップくるくる』を開きました。不用品を持ち寄り、交換できる場です。そこは今、ボランティアが店番をし、誰もが集まる「無料の居場所」となっています。

鴻巣市吹上 労働者協同組合こうさてん

輪っはっは

住み慣れた地域で
いつまでも
柔軟な対応が
喜ばれている



高齢期を元気に過ごすためには多様なサービスが必要です。孤立や孤独を防ぐためのサービス、健康的な食、行きたいところに行くことができるサービスが整ってこそ人としての尊厳を保ちながら最後まで地域のつながりの中で暮らしていくものです。



**ワーカーズ・コレクティブが
担う福祉
居場所、移動、日常の生活支援**



利用者は介護保険を受けている方、いない方、赤ちゃんからお年寄りまで、あらゆる年代の方たちです。介護保険のヘルパーさんが「あー、あと10分あれば、これもできたのに」とつぶやきます。そんな時、「輪っはっは」なら、利用者の同意があれば、時間延長ができます。通院の付き添いも柔軟に対応しています。

介護保険のサービスは、介護認定を受けた方に限ることが対象ですが、「輪っはっは」は、一緒に暮らす家族に関する事、掃除・洗濯・買い物・食事作りなども手伝うことができます。

最近は遠方に住む家族から、一人暮らしの高齢の親御さんの家事サポートの依頼が増えています。施設にいらっしゃる方の隣接する病院への付き添いや、近くのスーパーで少しの買い物をすることがあります。30分ほどで終わります。

このような場合、施設のスタッフが行えたら良いのに、と思うことがあります。介護保険の利用枠を超えた時、利用対象にならない時の依頼にできる限り対応しています

所沢市・志木市 労働者協同組合 W.co たすけい輪っはっは

買い物、お墓参り
通院などなど

きらきら館



介護保険の対象にならないサポートを行っています。利用者の9割の方が移送サービスを利用しています。例えば、病院、買い物、役所、銀行、美容院、お墓参りなどへの移送です。移送先では同行しサポートも行っています。移送サービスや病院内の付き添いは介護保険が適用されないです。

きらきら館の利用者から「きらきら館があつてよかったです」「きらきら館がなくなったら困るからね」とよく言われます。

「近くに子供がいても、忙しそうだから頼みにくい」「近所の人に頼むとお礼など気をつかう」、「タクシーは予約を受け付けてくれない。電話した時に空きがないと来てくれない」「加須市には乗り合いタクシーや巡回バスがあるけれど、運行範囲が決まっており、利用しにくい」

自力では、希望した時間に希望する場所に行けないもどかしさを感じていると思います。その「もどかしさ」の解消に「きらきら館」がお役に立てているのだと思います。

加須市 NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ
きらきら館